



## 背景・趣旨

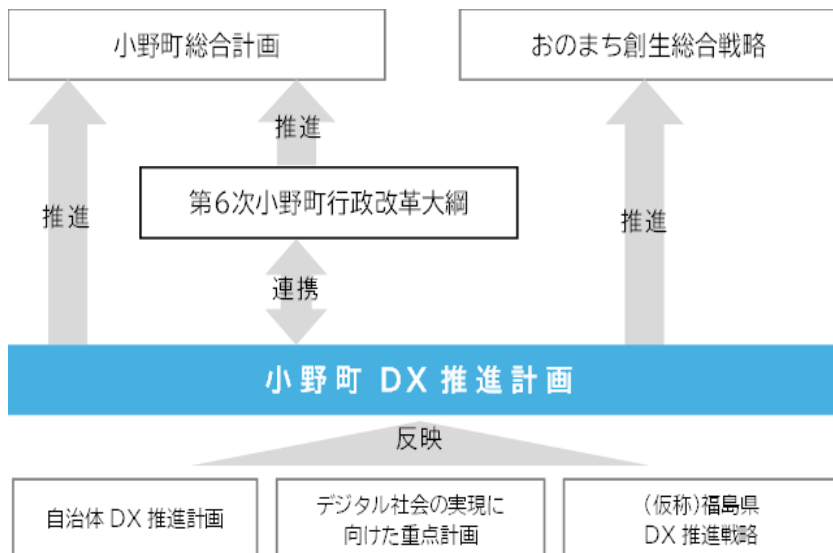
本町では、小野町総合計画に掲げる将来像「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」の実現を目指し様々な施策を実施しています。また、「おのまち創生総合戦略」における目指すべきまちの姿「人口減少社会に適應したまち～住み続けたい・戻ってきたいまちをつくる～」実現へ向け、今後も町が持続的に発展し、住民一人ひとりの暮らしの質を向上させるためにも、デジタル技術を積極的に活用したDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進が不可欠です。

総合計画や総合戦略に掲げる各施策において、分野横断的にデジタル技術を活用し、町民の利便性向上と地域活性化を図るとともに、デジタルに不慣れな方にも配慮した「誰一人取り残さない」視点を持ち、町全体で持続可能なDXを推進します。

## 計画の位置づけ

本町の最上位計画である「総合計画」および「総合戦略」との整合性を図り、総合計画に示された基本姿勢や将来像などをデジタルの面から具現化するための重要な枠組みとなります。

また、国が定める「自治体DX推進計画」や「デジタル社会の実現に向けた重点計画」、さらに福島県が定める「（仮称）福島県DX推進戦略」との整合性を確保することで、国・県・町が連携したデジタル化の推進体制を構築します。

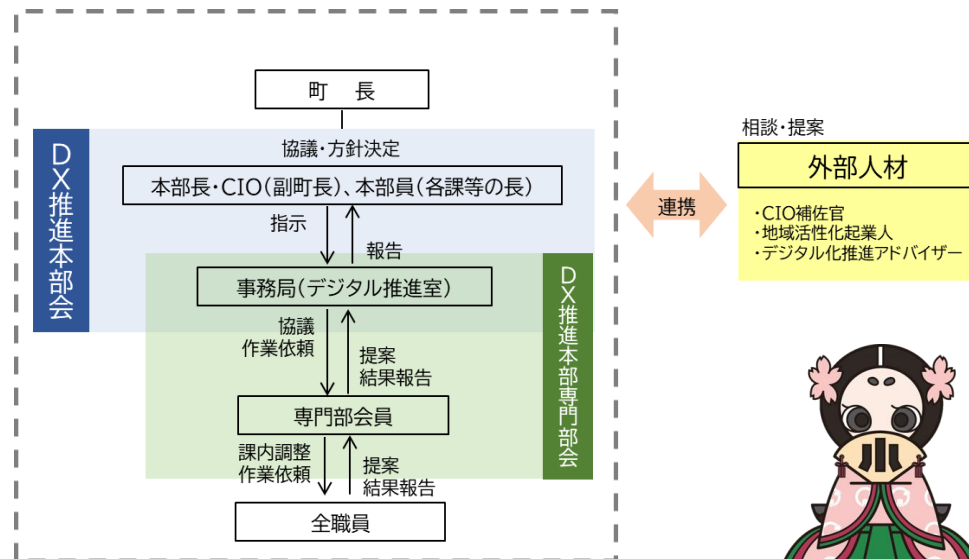


## 計画期間

令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）

## 推進体制

最高情報責任者を中心とした全庁的な体制でデジタル化(DX)を推進します。各部署が連携して取り組みを進めるとともに、デジタル分野に詳しい外部の専門家の助言を受け、安心して効果的な町のデジタル化を進めます。



## 基本方針

### デジタルの力で創る、豊かで持続可能な小野町の未来

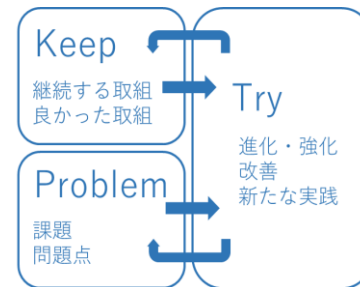
人口減少や高齢化といった時代の変化の中でも、対面によるコミュニケーションや地域に根差したアナログの良さを大切にしながら、デジタルの力を活用することで、行政サービスの質と利便性の向上を図り、町民の皆さんが安心して心豊かに暮らし続けられる町を目指します。



## 進捗管理

計画の進捗管理に当たっては、状況や目的に応じてPDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルとKPT（Keep・Problem・Try）フレームワークを使い分けます。

定期的な実施状況や成果の検証を行い、計画どおり進んでいるか、町民の皆さんにとって便利になっているかを確認し、課題があれば改善しながら、より良いサービスにつなげていきます。



## 取組方針・施策体系

### 一人ひとりが輝くDX 役場の手続きが、いつでも・どこでも

町民が、いつでも・どこでも簡単に行政サービスを利用できるようデジタル技術を活用して利便性と満足度の向上を図ります。

#### 【具体的な内容】

- 役場に行かなくても、手続きができる
- 証明書を自分で取得できる仕組み
- 医療や福祉の状況確認をオンラインで
- 税金などの支払い方法を選べるように
- アプリを使った健康づくりの取り組み
- 町公式ウェブサイトやSNSで

分かりやすく情報発信



### みんなで作るDX 地域のつながりを、デジタルで広げます

デジタルを通じて地域のつながりや学びを広げ、年齢や環境に関わらず、誰もが参加できる地域社会を目指します。

#### 【具体的な内容】

- 子育てや学校の連絡を、もっと便利に
- 子どもたちが学びやすい環境づくり
- 行政区へのお知らせをスマホでも確認
- 町民の皆さんの声を町づくりに反映
- 事業者の手続きを、かんたんに
- 農業を続けやすくするための支援
- デジタルが苦手な方へのサポート
- 町民同士が助け合える仕組みづくり

### 支える行政のDX 役場の仕事を、もっとスムーズに

業務効率化と高度化を進め、職員が人にしかできない仕事に集中できる持続可能な行政運営を実現します。

#### 【具体的な内容】

- 書類や決裁をデジタルで効率化
- 紙を減らし、会議もオンライン活用
- 働き方を見直し、より良いサービスへ
- デジタル機器を計画的に更新
- 外部の知識を活かした業務改善
- 情報を守るための

しっかりした対策

